

社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献

基本方針
 ・利用者のあるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
 0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

8月7日19:30～まわるひまわり盆踊り
 8月21日19:30～瑞雲荘供養盆踊り

今夏も開催します



お問い合わせは
 まわる ひまわり盆踊り
 (0978) 66-5500 ひまわり矢野まで
 瑞雲荘供養盆踊り
 (0978) 52-2233 瑞雲荘 山田まで

瑞雲荘家族会

7月10日、午前11時より本年度第一回目の瑞雲荘家族会が開催されました。ご多忙中にも関わらず、ご参加頂いた家族の方々にお礼申し上げます。

まず、重松相談員より現在の入所者概況や待機状況、取組み等の説明を行い、食中毒の時期になった事もあり、面会時の差し入れについて数点の留意点に對するご協力を重ねてお願いをいたしました。

次に、真田統括施設長より、瑞雲荘の建替えについて、先日行われた瑞雲荘運営支援委員会で話し合われた内容等の事前説明を行いました。平成18年度以後の介護報酬ならびに介護認定引き下げによる収益減とスプリンクラーの設置義務の説明。スプリンクラー設置事業と並行して、トイレ及び空調設備の改修を併せて行ったこと。それに伴い建て替えて平成28年度までに延期させていただくということ。その報告をいたしました。その上で、柏木家族会会長より建て替えに関して「個室」にするべきか「多床室」にするべきか家

瑞雲荘

七夕行事

7月6日

大田保育園、田原幼稚園の園児たちが来荘され、踊りや歌を披露していただきました。雨が続き、心なしか元気の見られなかったご利用者様も、これには笑顔で元気に「かわいいなあ」「えらいなあ」と次々に声をあげておられました。

園児たちとご利用者様一緒に「七夕さま」を合唱し、大いに盛り上がりました。

最後に園児達とご利用者様で交流を深め、言葉を掛け合い、握手を交わし、「また、来ちよくれな」と別れを惜しむ声が聞かれました。皆園児さん、どろりとしたまごがもんの姿が印象的でした。



節看つうしん

きつき訪問看護ステーション

食中毒にご用心

梅雨があけて暑い夏を健康で過ごすために、むしむしするこの時期、特に気をつけたいのは食中毒です。誤解されがちですが、食材の中で食中毒菌がふえているかどうかは、見た目やにおいではわかりません。食材は食中毒菌がついていると思っ取り扱った方がいいと指摘されています。食中毒の予防の三原則は「菌をつけない、増やさない、やつける」調理時には手をきれいに洗い、生肉と野菜と一緒に扱わないようにして、食材に細菌をつけないようにしましょう。食材を低温で保管して細菌を増やさないように気をつけましょう。しっかりと加熱調理して細菌を死滅させる、特に子どもや高齢者がいる場合は十分な加熱を心がけましょう。食中毒対策には「これ一つやっておけば大丈夫」という対策はありません、「手を洗う」「食材を低温で保管する」「しっかりと加熱する」といった対策の積み重ねが大切になります。

(阿部)

生活相談員日記

生活相談員 重松賢一郎

ある利用者様との会話の1コマです。「夫と死に別れてしばらくひとりで暮らしていた。しばらくして子供夫婦が帰って来て一緒に暮らし始めた。孫も一緒にすごく嬉しかった。けれどもそれは年月を重ねるにつれ寂しさに変わった。だって、「危ないから」とか「ゆっくりして」とか言われ、すぐく有難かつたけれど、家で何もしないで暮らす者の気持ちかわかる？」

人は年齢を重ねると共に、役割が変化していきます。そして、役割は若い世代に引き継がれていきます。それは時として、役割を奪われるという形になる事があります。人は役割を失うと虚しさ・寂しさを覚えます。いくつになっても、与えられた役割を全うできる幸せは、言葉に代え難いものです。自分はその人に出る事・やる事、役割を奪っていないだろうかと自問しました。尊厳や役割を大切にできる専門職でありたいと思う今日この頃です。

編集後記

「芸能人は歯が命」、「白い歯って、いいな。ホワイト&ホワイト」と、歯科衛生士に関する警告はテレビCM等でも散々目にしているにも関わらず、就寝前の歯磨きは行なわなく、(子供達には厳しく指導)唯一行なう朝の歯磨きも平均摩擦回数30回というズボラな私が治療途中で行かなくなつた歯医者さんの前を通るのを避けるようになって、早2年が経過しようとしていました。そんな私に歯科治療のピンチが再度訪れたのは一ヶ月前のことです。子供の歯が抜けかけている娘を歯医者さんに連れて行って、娘の歯が言いついで、言われるがままに抜いていくとそこは、今まで避けて通つてきた歯医者さん。私はうつつに、歯加減で顔がぱんぱんという娘の歯が抜けました。治療が終了し、娘も大人の歯になり、娘の成長に目を細めていた私の耳に入つた恐ろしい一言「お父さん、その後、歯の調子はいかがですか?」やはり覚えられていました。2年振りに私と右奥歯との戦いが再開しました。虫歯の攻撃力が凄まじく、時には頬がプツクリと腫れ、時には鎮痛剤を噛み砕き、現在も治療中です。食事も巧く摂れなく、3kgの体重減という嬉しい誤算もあり。今度こそこの戦いに勝利したく頑張っています。

高尾

族会の意見を取りまとめて頂きました。建て替えについては、以前アンケートをとった結果として、「建て替えは必要ない」というご意見が多数でしたが、今回も同様のご意見をいただき、「建て替えるなら多床室での建て替えを」と参加されたご家族全員一致の結果となりました。今後ご家族会の皆様と話をさせていただきながら、方向を決めて行きたいと思えます。

瑞雲荘運営支援委員会

6月30日、本年度第一回目の瑞雲荘運営支援委員会が開催されました。今年度の市議会議長の交代に伴い、今回より上杉前議長より鈴木議長へ委員の交代と、大田地区区長会長が本田会長から渡邊会長への交代がありました。議事では、まず重松相談員より入所利用者の概況報告、続いて真田統括施設長からは瑞雲荘移譲に関する覚書の履行状況の説明がありました。また、スプリングクラー設置と空調設備の整備が完了したことの報告と、施設建て替えについて現況報告を行い委員の方々のご意見を伺いました。

三楽園 デイサービスセンター編

菖蒲見学 6月21日(月)

今年も皆さんと別府の神楽女湖へ花菖蒲見学に行ってきました。約80種1万5千株の色とりどりの花菖蒲はまさに見頃！一面に咲き誇った花菖蒲を前に記念撮影したり、散策されたりと、皆様楽しいひと時を過ごされたようです。

利用者様からの感想

有広 キヨ子様
「小雨の中でしたが、現地に着くと見事な花菖蒲が咲き誇り、とてもよかったです。また、大勢の人で賑わっていました。来年もお願いいたします。」



父の日プレゼント配布

日頃の感謝の気持ちを込めて、プレゼントを送りました。手渡す際、プレゼントの中身を待ちきれず開けてしまうハプニングもあり、とても楽しい時間となりました。



制度改定に伴う収入の減少と、消防法改正に伴い義務となったスプリングクラー設置の工事等、施設整備に相当額の費用を投じた事により、覚書通りに平成23年度までの建て替えを履行するのが難しく、5年間の延期を要している事、また建て替えるにあたり個室が良いのか多床室が良いのかを、後日開催される家族会で諮るという内容を確認して閉会しました。

きつきの里 デイサービスセンター

7月7日七夕祭り

この日は七夕の日。皆さんに書いていただいた短冊を笹に飾り、記念撮影をしました。皆さんの願い事はさまざま、思わず笑ってしまうような願い事やありがたいお願い事もありました。「恋がしたい」「ビールが飲みたい」「ひまわりさん杖になって下さい」など。またこの日のおやつは天の川をイメージしたきれいなゼリーで皆様大喜ばれていました。



三楽園 デイサービスセンター編

七夕の短冊に「元気になって別府に行きたい」と書かれていたHさんに「若い頃よく別府に行かれていたのですか？」とお尋ねすると「じゃあ、よう朝帰りして母ちゃんに怒られよったわあ」と苦笑いで話してくださいました。

思わずビックリしてしまったKさんの願い

「幸せの予約がとれたらいいなあ...」

鼻の調子が悪いTさん、七夕の短冊には「鼻づまりが早くよくなりませうように」と切実な願いが書かれていました。

願い事は「お金持ち」のNさん会話の中で「(お金は)ねえよりも、あった方がいいじゃろ」と仰っていました。説得力のあるお言葉でした。

「厨房だより」
6月3日(木)に押し寿司、7月3日(土)に巻き寿司を献立に入れました。献立にお寿司があると、「今日は何の日かえ」と皆様に尋ねられ、大変好評でした。そして回数を増やして欲しいとリクエストを頂きましたので、毎月3日の日を「お寿司の日」としました。

ひまわりヘルパーステーション

百歳のお誕生日おめでとございます。

7月5日、花畑初男様が百歳の誕生日を迎えられました。娘さんの介護やヘルパーサービスを利用しながら92歳になられる奥様とご自宅にて二人暮らしをされています。教員を長くされておられた方で教え子からの便りが届くと目を細めて喜ばれる姿が印象的です。現在はベッド上での生活ですが一日でも長く、ご自宅で過ごせるよう、娘さんと共にヘルパーも誠心誠意お手伝いさせていたただきます。



利用者様のお声

ご利用者様方の七夕の短冊に込められた印象深い願いを掲載します。

「お金持ちは、あつた方がいいじゃろ」と仰っていました。説得力のあるお言葉でした。

鼻の調子が悪いTさん、七夕の短冊には「鼻づまりが早くよくなりませうように」と切実な願いが書かれていました。

「幸せの予約がとれたらいいなあ...」

七夕の短冊に「元気になって別府に行きたい」と書かれていたHさんに「若い頃よく別府に行かれていたのですか？」とお尋ねすると「じゃあ、よう朝帰りして母ちゃんに怒られよったわあ」と苦笑いで話してくださいました。

思わずビックリしてしまったKさんの願い

「幸せの予約がとれたらいいなあ...」

鼻の調子が悪いTさん、七夕の短冊には「鼻づまりが早くよくなりませうように」と切実な願いが書かれていました。

願い事は「お金持ち」のNさん会話の中で「(お金は)ねえよりも、あった方がいいじゃろ」と仰っていました。説得力のあるお言葉でした。



絵手紙 作成 三楽園御利用者 高島 栄 様

「楽しい事がいっぱい一日が早く終わります。元気で長くここに来られますように」
と書かれていたKさんに、「三楽園の事ですか？」とお尋ねしたところ「そうですね」と笑顔で答えてくださいました。嬉しいですね！
「手が悪いから、あんた書いてくくれ。」と言われるKさん
「なんち書きましようか？」と尋ねると・・・
「じゃあなあ、健康でありますように」
とにっこり顔で言っておられました。